

令和2年度 和田小学校の学校経営
(ランドデザイン)

【学校教育目標】
心身ともにたくましく、自ら考え、行動する、心豊かなひまわりっ子の育成

校訓： つよく かしこく むつまじく

つよく

○ 心身ともに健康で、ねばり強く最後まで頑張る子ども
(体力・運動能力児童個々に、昨年の5ポイントアップ)

- ・ 自分の体力・運動能力の実態と課題を把握し、進んで運動に取り組む子供
- ・ 心身の健康づくりに努め、危険予知力を身に付けた子供
- ・ 望ましい食習慣を身に付けた子供

体力・気力アップ

かしこく

○ 確かな学力を身に付け、自ら進んで学ぶ子ども
(NRT:児童個々に、昨年の5ポイントアップ)

- ・ 学習の仕方がわかり、基礎基本を確実に身に付けた子供
- ・ 課題意識を持ち進んで学び、自ら創造したり工夫して表現したりする子供
- ・ 夢に向かって日々努力し、学び続ける子供

学力アップ

むつまじく

○ 礼儀正しく親切で、思いやりのある子ども
(いじめ見逃し0・不登校0)

- ・ 礼儀正しく、思いやりの心を持ってみんなと仲よくし、人の心の痛みのわかる子供
- ・ 責任ある態度で、目標を達成したりボランティア活動に取り組んだりする子供
- ・ 自然や生命を大切にし、明るく生き生きと生活する子供

思いやりアップ

目指す教職員の姿

- ① 使命感に燃え、子どもや保護者から信頼される教職員
(使命感・信頼)
- ② 健康で明るく、人間性豊かな教職員
(人間力)
- ③ 子ども一人一人を大事にする教職員
(高い人権意識)
- ④ 研修意欲旺盛で、常に創意・工夫実践する教職員
(職責感・専門性)

【子どもの合い言葉】
やるべきことはちゃんとやる

【職員のスローガン】
徹底的に個にこだわろう

目指す学校の姿

- ① 保護者や地域の期待と信頼に応える学校
(信頼される学校)
- ② 愛情と信頼に満ちた明るい活気のある学校
(楽しい学校)
- ③ 常に課題を持ち、学び合い、前進する学校
(向上する学校)
- ④ 美しく整備されたきれいな学校
(美しい学校)

令和2年度 努力点と具体的方策

つよく
(体力・気力アップ)

- (1) **たくましい気力・体力の育成**
 - ・ 体力テスト等の結果分析による一人一人の実態・変容の的確な把握
 - ・ 実態に応じた対策の推進
 - ・ 一校一運動(かけ足、なわとび)の推進と「チャレンジかごしま」への挑戦
 - ・ 体力づくりの生活化の推進

かしこく
(学力アップ)

- (1) **授業の充実、基礎・基本の定着**
 - ・ 標準学力検査等分析、結果の活用
 - ・ 授業終末の充実(まとめの板書、ポストテスト等)
 - ・ 考える・書く活動の充実
 - ・ 今週の一問や学力向上支援 Web システムの活用
 - ・ チャレンジタイムの実施
 - ・ 個に応じた指導の推進(和田小学力向上対策)

むつまじく
(思いやりアップ)

- (1) **心の教育の推進・充実**
 - ・ 「やるべきことはちゃんとやる」による規範意識の育成
 - ・ いじめや不登校の未然防止(早期発見・対応、いじめ防止対策委員会等の充実、教育相談週間の取組(アンケート実施))
 - ・ 全児童、全保護者対象の教育相談の実施
 - ・ ノーチャイムによる自主的態度の育成(始・終の厳守)

- (2) **郷土のよさや伝統を生かす**
 - ・ ひまわり竹太鼓の継承
 - ・ 米作り体験、いろはカルタ、文化財学習等ひおき学関連活動の実施
 - ・ コミュニティスクール推進

- (2) **小中一貫教育の推進**
 - ・ 小小連携・中小連携の充実(教師間の連携、児童生徒の交流活動、各種行事の合同実施)
 - ・ ひおき学実践研究の推進

- (2) **さわやかな学校環境づくり**
 - ・ 来校者へのあいさつ、応対等
 - ・ 校舎内外の整備、環境美化
 - ・ 掲示物、設営の工夫
 - ・ 集合・交流学习の推進

- (3) **健康・安全教育の充実**
 - ・ 危険予知能力と危機意識の高揚、危険箇所点検や各種訓練の実施と反省
 - ・ 施設・設備の点検、補修等の早急な対策
 - ・ ほけんタイムの実施
 - ・ むし歯治療の推進
 - ・ ふれあい給食の実施

- (3) **家庭学習の充実と習慣化**
 - ・ 家庭学習強調週間の充実
 - ・ 家庭学習時間の確保、個に応じた内容の工夫(10分×学年+20分)
 - ・ 授業と接続する家庭学習の工夫
 - ・ 生活習慣の自己管理、保護者への啓発
 - ・ ひまわり家訓、アウトメディアデー

- (3) **読書指導の充実**
 - ・ 朝の全校読書タイムの充実(全児童・全職員、10分)(1・2年120冊、3・4年100冊、5・6年80冊目標)
 - ・ 子ども読書の日(毎月23日)の位置付け、家庭読書の推進、ボランティア団体等との連携

- 当たり前のことを当たり前にするべきことは確実に実践
- 教える場、考えさせる場の区別